

鍛圧機械 全会員受注グラフ (月次業況調査)

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

2022年8月8日

2022年7月度 鍛圧機械 全会員受注動向 月次業況調査コメント

- 概況 受注総合計は268.2億円と、前年同月比で21.8%減となり、2020年12月以来のマイナスとなった。特にプレス系のマイナス幅が大きく、板金系は微増であった。全世界的には依然として、一部部品の品薄や、物流関係の混乱、あるいはウクライナ侵攻や円安による原材料高騰等の影響が引き続き懸念される。
- 機種別 プレス系機械は99.6億円と、前年同月比で45.7%減となり、中型プレスが72.2%増、油圧プレスが2.3倍で、その他はマイナスで、特に大型・超大型プレスが大幅マイナスであった。板金系機械は94.1億円と、前年同月比5.2%増となった。レーザ・プラスマが10.6%増、プレスブレーキも7.0%増であったが、パンチングが若干のマイナスであった。
- 内外別 国内は100.3億円、前年同月比10.6%減となり、電気22.4%増、その他49.5%増となったが、自動車、一般機械、鉄鋼、金属製品はマイナスであった。(機種計) 輸出は93.4億円、前年同月比41.9%減となり、韓国・台湾向79.6%増、インド向6.7倍、東南アジア向5.8%増で、中国向、北米向、欧州向はマイナスとなった。

鍛圧機械 全会員受注動向 月次業況調査 推移グラフ



